

施策評価シート (評価対象年度：令和元年度)

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	1 情報公開の推進	② 施策番号	2402
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	6 みんなでまちづくりに取り組むまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	2 市民の満足度が高く、また透明性の高い行政経営をおこなうまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	2 広聴・広報活動の充実		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
総務部	契約検査課		

2. 施策の現状把握

[1] 施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	泉南市の公共調達を市民に対して
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	手続きについて、市民の疑惑を招くことのないように透明性のあるものとするため、情報公開に取り組む。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	公共団体の調達について、公正性、競争性のあるものとなっているか説明責任を果たす必要から、契約の内容に関する情報を公開することが求められている。

[2] 施策指標及び推移

施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
① 契約検査課が契約の内容に関する情報を公表する回数 計算式	回	多くの情報を公表することが、契約の公正性を高めることに繋がることから、契約の内容に関する情報や発注の見通しを公表する回数を透明性向上の指標とした。
② 計算式		
③ 計算式		

	指標名	単位	実績					備考	
			H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標		
①	契約検査課が契約の内容に関する情報を公表する回数	回	目標値	18	18	18	18	18	入札後、結果を公表(概ね月1回)、工事の発注見通しを公表、四半期ごとに業務委託・賃貸借の契約状況を公表。
			実績値	18	20	18	—	—	
			達成率	100.0%	111.1%	100.0%			
②			目標値						
			実績値						
			達成率						
③			目標値						
			実績値						
			達成率						

[3] 施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標				総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化	
		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2見込	H30実績	R1実績	R2見込	総合評価		今後の方向性
1	契約情報公表事業	ホームページ閲覧件数(全庁)	件	196,081	171,969	—	1,378	1,311	1,311	A	ア	◎
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	1						1,378	1,311	1,311			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	市が行う契約に関する情報を公表することにより、公共調達等の透明性を拡大すれば、入札及び契約の更なる適正化が図れると同時に市民への広報活動に繋がる。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	定期的、または随時に契約の内容を公表していることから透明性の確保は図られていると考える。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	市の内部事務の情報の公表であり、適正である。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	適正な契約を行う観点から情報の公表は不可欠であり、必要な事務事業で構成されている。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	さらに公正性及透明性を高め、市の行う入札及び契約手続きが適正なものであることを継続して公表することが必要。

4. 一次評価(所管課評価)

	評価(A~D)	課題等	
一次評価	B	泉南市が行う契約手続きについて透明性を高めるために、現在公表している情報が適正であるか更に検討が必要。	<p>A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる</p> <p>B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている</p> <p>C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある</p> <p>D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある</p>

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	公表内容の再確認及び時点修正を行い、より分かりやすいものとする。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	入札制度改善の検討と併せて、契約に関する情報を公表する。
中長期的対応 (3~5年をめぐりに取り組む改善案)	現在策定している建設工事、工事関係業務委託、物品、その他契約状況の一覧の公表に関する要綱の内容の拡充に取り組む。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

	評価(A~D)	課題等	
二次評価	B	契約情報の定期的な公表により、情報公開の推進が適切に行われている。 引き続き適切な情報公開への取組を進められたい。	<p>A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる</p> <p>B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている</p> <p>C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある</p> <p>D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある</p>